

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本競技会は、2021年度（公財）日本陸上競技連盟規則ならびに本大会申し合わせ事項によって行う。

2 競技練習について

大会当日、指定された時間内での本競技場での練習を認める。

また、砲丸を使用しての練習については、投擲練習場の開放時間のみとする。その際は事故防止のため、顧問の先生の付き添いの下で行うこと。それ以外の他の場所での砲丸投げの練習を禁止する。（各自持ち込み）

3 招集について

(1) 招集所は、100mスタート地点の外側に設ける。

(2) 招集時刻はその競技の開始時刻を基準として、次の通りとする。

	予 選		決 勝	
	開 始	完 了	開 始	完 了
トラック競技	30 分前	15 分前	30 分前	15 分前
	ただし、組数が多い場合には、段階的に招集を行うので、詳細はタイムテーブルを参照すること。			
走幅跳	/		60 分前	40 分前
共通男子砲丸投			50 分前	30 分前
共通女子砲丸投			60 分前	40 分前
1年男子砲丸投			50 分前	30 分前
共通走高跳			40 分前	20 分前
棒高跳			70 分前	60 分前

(3) 競技者は、招集開始時刻に招集所に集合すること。招集完了時刻に遅れた競技者は失格となる。

(4) 受付は本人が行いアスリートビブスの確認を受ける。受付終了後は招集所待機所で待ち、最終点呼を受ける。招集完了時刻に本人がいない場合は失格とする。

(5) リレー競走に出場するチームはあらかじめ招集所からオーダー用紙を受け取り、必要事項を記入して、予選はプログラム記載の時刻までに1部提出する。決勝進出の全チームは、招集完了時刻の1時間前までに招集所に1部提出する。

(6) 四種競技出場者は、一般種目と同様に招集完了時刻までに招集所に集合し、点呼を受ける。

(7) 点呼は、招集所と現地の2か所で行うので、係員に呼ばれたら大きな声で返事をする。

(8) 棄権するときは、あらかじめ招集所に招集開始時刻までに申し出ること。

4 競技について

(1) 競技の進行を速やかにするために、次の事項を遵守すること。

トラック競技

・不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。ただし四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者はすべて失格とする。（競技規則163条7）

・スタート時の不適切行為は、注意（グリーンカード）とする。但し、繰り返した場合は警告（イエローカード）の対象とすることがある。2度目の「イエローカード」を提示されると、「レッドカード」が提示され、その種目の出場資格は失う。それ以後の種目は出場権を失わないが、受けた「イエローカード」の累積はリセットされず、3回目の「イエローカード」を受けた場合もその種目は失格となる。

フィールド競技

・次の試技順の者は、競技時の服装で試技できる準備をしていること。

・理由なく進行を遅らせた場合はその試技を無効試技とする。

・競技者に許される試技時間は次の通りである。

※すべての種目1分

※人数が少なくなったとき

残っている競技人数	単独種目			四種競技
	走高跳	棒高跳	その他	走高跳
2～3人	1分30秒	2分	1分	1分30秒
1人	3分	5分	—	—
連続試技	2分	3分	2分	2分

・助走路が使われるフィールド競技では、走高跳を除いて、マーカーは助走路の外側に置かなければならない。競技者は、助走路や踏切をしやすくするためにマーカー（主催者が準備したもの、または承認したもの）を2個まで置くことができる。

(2) 招集所から出発線及び競技場所へ移動する場合は、必ず係員の誘導に従って規律ある行動をとること。選手以外の者は招集所内及び競技場内に立ち入ることができない（監督、父母、付き添いなど）ゴールした後の競技場内の通り抜けは厳禁とする。

(3) 800m競走は、第2コーナーの出口まで、セパレートレーンを使用する。オープンになる位置は第2コーナーの黄色のマーカーとする。

(4) 本競技場のスパイクの針の長さは9mm以下のスパイクとする。但し走高跳のみ12mm以下とする。スパイクの直系は少なくとも長さの半分が4mm四方の定規に適合し、数は11本以内とする。

(5) リレー競走について

①リレーチームにおけるユニフォームは同一でなければならない。

②リレー競走で使用したマークは、各チームの前走者が責任をもって撤去すること。

(6) 同記録の扱い方

トラック競技において同記録が出た場合、1000分の1秒で判定する。なお、1000分の1秒でも同記録の場合は、抽選とする。

5 アスリートビブスについて

・アスリートビブスは折り曲げずに胸と背にはっきりとみえるように付ける。但し、走高跳、走幅跳、棒高跳は背または胸だけでもよい。トラック競技に出場する競技者は、写真判定用の腰ナンバーカードを招集所で受け取り、パンツの右後方に付ける。ゴールしたのち、その場で係員に返却すること。

・3000mは特別ナンバーカードを使用する。あらかじめ招集所に取りに行くこと。

6 競技用具について

競技に使用する用具は主催者が用意したものを使用し、個人所有のものは使用できない。但し、棒高跳のポールは、検査を受けたものに限り使用が認められる。

7 砲丸投・走幅跳の計測ラインは設けない。

8 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は次のとおりである。

	走高跳			棒高跳	
	種別	練習	バーの上げ方	練習	バーの上げ方
男	共通	1m35	40-45-50-55-60-63・・・	2m00	10-20-30-40・・・
	四種	1m25	30-35-40-45-50-55-58・・・		
女	共通	1m20	25-30-35-38・・・		
	四種	1m10	15-20-25-30-35-38-41・・・		

(1) 決勝において最後の一人になり、優勝者が決まるまで、上記のバーの上げ方とする。

(2) 第1位が同記録の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする（ジャンプオフ）。

9 競技運営上必要な情報、指示、伝達はアナウンスするので、聞き逃しのないよう注意すること。各種目の成績は正面入り口付近に掲示する。

- 10 競技者はあらかじめ出場する種目の招集時刻，組，レーン，試技順など及び競技事項を熟知できるように努めること。
- 11 本大会1位の選手を、「令和4年度全日本中学校通信陸上競技岩手県大会」のその種目に推薦する。
(リレーを除く)
- ※1年男子100mHの1位の選手は，次年度の共通男子110mHに推薦するものとする。

12 競技日程

性別	区分	種目	16日(土)		17日(日)	
			予	決	予	決
男子 (16種目)	1年	100m	○	○		
		1500m				○
		100mH			○	○
		砲丸投		○		
	2年	100m	○	○		
		1500m				○
	共通	200m			○	○
		400m	○	○		
		800m	○	○		
		3000m		○		
		110mH			○	○
		走高跳				○
		棒高跳		○		
		走幅跳		○		
砲丸投		○				
四種競技		○				
	4×100mR	○			○	
女子 (11種目)	1年	100m	○	○		
		1500m				○
	2年	100m	○	○		
		1500m				○
	共通	200m			○	○
		800m	○	○		
		100mH			○	○
		走高跳				○
		走幅跳				○
		砲丸投				○
		四種競技		○		
	4×100mR	○			○	

共通男子110mH・共通男子四種競技 0.914m 13.72-9.14
 1年男子100mH 0.840m 13.00-8.50
 共通女子100mH・共通女子四種競技 0.762m 13.00-8.00

1年砲丸投・共通男子四種競技 4.00kg
 共通男子砲丸投 5.00kg
 共通女子砲丸投・共通女子四種競技 2.72kg